

鹿角市の通説異説

〔99〕03大湯環状列石の謎／どばんくんは六面体

世界遺産「大湯環状列石」と同じ土壌の中から出土したとされる土版（愛称どばんくん）は、世界的に大変貴重な出土品で、唯一無二？とも言われています。

ご案内のように、どばんくんは六面体の形をしています。印されている「六」の数値は、時間軸を表していると考えられています。

六面体⇒「十干十二支」と関係があるかもしれません。

とろろで、私は、円環思想に関係があると思います。
大湯郷土研究会でも、大湯環状列石について、円環思想のことに言及されています。

即ち。私は、六面体⇒「メディスン・ホイール（聖なる環）」の世界観宇宙観⇒「東西南北、春夏秋冬、光風土火」⇒「円環の思想」の事です。

◇参照：どばんくん（土版君）とは？

<https://twitter.com/GCZsakurada/status/1446996290533937154>

◇参照：鹿角の歴史の謎／円環の思想

<https://twitter.com/GCZsakurada/status/1447002814891192322>

鹿角市の通説異説へ戻る

<https://twitter.com/GCZsakurada/status/1443256164158869506>